

OH! 海土 活動報告

(第9号 2010年冬版)

編集 黒坂 佳司(幹事長/海洋 57)
石原 正人(企画 /土木 54)
香川 涼子(企画 /環建 14)

2010 年 12 月 16 日発行

支部長挨拶 大仲 祥司(土木47)



皆さんが体感されたこの夏の暑さは、気象庁の発表によりますと、113 年間で最も暑い夏だったそうです。松山本部での夏の土木海洋会総会に出席したときの松山も暑かったが、「坂の上の雲」で盛り上がる松山も本当に熱かったです。

この盛り上がりをさらに実感すべく、岩崎副支部長の発案で 11 月 20 日(土)“秋のレクリエーション”「横須賀の三笠公園、記念艦三笠」見学、猿島でのバーベキュー大会を行いました。参加者こそ 9 名と少なかったですが、記念艦三笠を直に見て皆感激し、見学時間の短さを悔しがらうくらいでした。数日前の雨の天気予想を覆し、穏やかな秋晴れの中猿島でのバーベキューでの懇親会も最高でした。

東京支部ではいろいろと企画しておりますが、会員皆さんのご意見をいただきまして、会員誰でも気楽に参加して情報交換できるよう改善・改革・改新して参りたいと思っておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成 22 年支部総会の報告 H22.07.17(土) キャンパスイノベーションセンター(JR 田町駅前)



平成 22 年度関東支部総会は、7 月 17 日(土)に田町のキャンパスイノベーションセンター(CIC)2 階において、25 名のOB/OG参加のもと開催されました。大仲支部長のご挨拶の後、H21 年度事業報告、H21 年度決算報告、役員の交代、H22 年度事業計画および H22 年度予算についてご承認頂きました。

また、大学から愛媛大学助教授・土木海洋会幹事長の木下尚樹先生にご出席賜り、来年度からの新入試制度のご説明を伺ったあと「岩盤工学と地下空間利用」について、ご講演頂きました。



総会の後の懇親会は、新年会時の混雑を反省し、いつもの(広いスペースを占有できるのが取得の)田町駅前の「藩」において開催しました。

ほぼ全員の参加のもと、先輩・後輩間の懇親を深める事ができました。



平成22年本部総会の報告 H22.08.21(土) 愛媛大学校友会館 2階サロン



平成22年度土木海洋会・総会は、8月21日(土)午後3時より愛媛大学 校友会館 2階サロンにて開催されました。

会長が所用で欠席されたため、大仲関東支部長の司会で総会が開始され、平成21年度事業報告、度決算報告、平成22年度役員の改選、事業計画および予算案を議論しました。

総会後は、校友会館1階のカフェ・レストラン「セ・トリアン」で交流会が開催されました。

ところで、平成22年4月22日、愛媛大学構内に、南加記念ホール、校友会館および愛大ショップ“えみか”がオープンしております。

南加記念ホールは、正門を入ってすぐ右側に有りました記念講堂を大幅に改修したもので、ステージと256の座席を備えた施設へと生まれ変わっています。(下段、右端の写真参照)

愛大ショップえみかは、附属農場の安心米や特別支援学校の生徒の手による木工品などの生産品、安心米を原料として地元の酒造会社の協力を得て開発した特別純米酒「媛の酒」やブランドマークを模したロールケーキなどのオリジナル商品のほか、松山市、東温市、今治市、四国中央市といった本学と深いつながりのある市町の特産品などを販売しています。

校友会館は、学生、教職員、同窓生、退職教職員などの交流の場として利用することを目的とした施設で、レストランのほか、交流スペース、OB サロンなどを有しています。



第21回クラブOH! 海土懇親ゴルフ大会の報告 H22.10.16(土) 金乃台カントリークラブ (茨城県)

第21回クラブOH! 海土 懇親ゴルフ大会は、平成22年10月16日(土)に茨城県の金乃台カントリークラブにて会員9名の参加で開催されました。

絶好のゴルフ日和のなか和気あいあいのゴルフを堪能し、“本命の”武智修さん(海洋57)が優勝されました。

次回(第22回クラブOH! 海土)の開催は平成23年4月を予定しておりますので、これまで参加されていない方も是非ご参加方、宜しくお願い致します。

[連絡・問合せ先] 三井造船(株) 黒坂(海洋57)
電話: 090-3175-9184, E-mail: kurosaka@mes.co.jp



秋のレクリエーション（バーベキュー大会）の報告(by 香川幹事) H22.11.20(土) 三笠公園&猿島（神奈川県）

週間天気予報では雨が心配されましたが、ふたを開けてみれば素晴らしいバーベキュー日和。
まずは横須賀にて戦艦三笠の見学です。遠足気分で夢中になって船内を探索する姿はまるで少年たちのようなでした。
その後船にて約 10 分。猿島にて、黒坂幹事長がリュックに入れて運んできてくれたボージョレヌーボーで乾杯！
おのおののこだわりを披露しつつバーベキューを楽しみました。
皆さんの日ごろの行いのおかげで、うらかな秋の無人島を満喫の一日となりました。



記念艦三笠前にて



三笠艦橋に勢ぞろい



ヌーボーで乾杯



元気に肉を食すおじさんたち



まだまだいける人達と小休憩のおじさん



絶好調！



大盛況！



BBQ 日和



三笠公園・東郷元帥像前にて

工業会便り 工業会講師に「藤波辰爾」登場 有次 隆（土木51）

去る 10 月 2 日(土)に工業会の総会が開催されました。

講師は環境工学科の門田先生と、プロレスラー藤波辰爾という異色の取り合わせです。

藤波は私の幼馴染で同窓会の講師に来てくれとのオファーに快く引き受けてくれたのですが、実は故郷大分の同窓会だと思い込んでいまして、会場に来て有次に騙されたとかぶつぶつ言っていました。何とか機嫌を直してくれたのは、(土木海洋会・幹事の)玉井さんの接待のおかげだと感謝しています。玉井さん有難うございます。

総会で支部長を拝命しました。微力ながら頑張るつもりでありますので、どうぞご支援をお願いいたします。





関東支部の皆さまいかがお過ごしでしょうか。本日は土木海洋会本部からの近況報告をご簡単ではございますがさせていただきます。会員の皆さまのお陰を持ちまして、今年度も「同窓会名簿・平成 22 年度版」および「土木海洋会だより第 16 号」の発行を行うことができました。これも皆様方のご支援の賜と厚くお礼申し上げます。すでにお手元に届いているかと存じますが、届いていない方でご希望の方は本部まで一報いただければ幸いです。また、皆様方をお願いしております会費（年 3,000 円）は名簿発行等、本会を運営するための非常に大切な資金となっております。この度、事務手続きの簡素化を図るために会員の皆様に年会費自動振り込みの手続きを再度お願いすることとなりました。名簿と同封でご案内差し上げておりますが会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

つぎに学科の改組についてお知らせします。前号でも紹介いたしましたが、環境建設工学科は平成 23 年度から変わります。従来のシビルエンジニアリング専修コース（土木工学コース）に加えて文理融合型カリキュラム「社会デザインコース」を新設します。まちづくりや国土のマネジメントは、これまでのように理系の土木技術者だけの仕事ではありません。文化的な素養を持ち、社会や経済に明るく、またはデザインや景観のセンスを持つなど、多様な個性を持つ技術者が今後必要となってきます。新設コースではこのような技術者を育成するため、文系の生徒をも積極的に受け入れ、文理を融合したエンジニアリング教育をします。

以上のような情報はホームページにも掲載されています。キーワードで検索できますので、一度ご覧ください。また、同期会などを松山で開催される際には、お気軽にご連絡ください。土木海洋会も何かお手伝いできるかも知れません。よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆さまよいお年をお迎えください。

大分からのたより 『ジイジ・・・モモ!』 高木 茂（土木 47）

「じいちゃん、桃を頂戴！」の意味です。アレルギーにて食べ物制限の厳しい 2 歳の孫がたまに訪れ、私の顔を見るなり口にする言葉です。小片に切って恐る恐る数個食べさせたのが始まりだったのですが、その美味しさ故の笑顔は無条件に愛らしくもあり不憫でもあり……。母親である次女の喘息がひどく東京から大分への転勤を叶えてからもう 30 年近くが経ち、4 人の子育ても無事終わり、転職先である建設コンサルタントの役員も勇退し「顧問」と言うゆとりの日々をここ大分の地にて楽しんでいるところです。

「大分は転勤族が二度泣く」と言われています。「なんで大分くんだりまで……」「大分を離れたくない……」の二度らしいのですが、確かに海の幸・里の幸・山の幸は豊富で美味であること間違い無く、釣り・ゴルフ・山登り等時間の活用にも困ることも無いのです。県民性としては、穏やかで積極的に自らの意見を述べることは少ないが状況観察には長けているところが大方の見方でしょうか？

「地方からの便り」とのことですが大分の観光案内はインターネットに譲るとして、折角の土木繋がりですので大分県下に数多くある土木遺産から私の好きな 3 点を写真にて紹介……。

- ① 鳥居橋(石橋): 宇佐市印内町に大正 5 年完成し石橋の貴婦人と呼ばれている。
- ② 白水堰堤(ため池): 竹田市に昭和 13 年完成。転波列による流水模様が絶景。
- ③ 乙原貯水池: 大正 6 年完成し別府水道局の管理。レンガ造りの集水塔は西洋建築様式。



① 鳥居橋(石橋)



② 白水堰堤(ため池)



③ 乙原貯水池

どれも背景にとけ込み長年の風雪に耐えただけではなく実生活に供してきた自信と風格も感じてしまうのですが皆さんにはどのように映ったでしょうか？興味のある方は是非大分へお越しください。

社会人となり鋼構造物の設計・製作・架設、プロジェクト管理、システム開発、建設コンサルタント……と広範囲の仕事に携わる機会に恵まれてどうにか働き人の最終章に辿り着きこれからの人生を考える時、過去の貴重な経験を背景とした「風格のある生き方」をしたいものだと何となく思っている在大分の同窓生からの地方便りでした。

新役員分の挨拶

○ 幹事長 黒坂 佳司（海洋 57）



秋山好古陸軍大將像

昨年末の薦田前幹事長の転勤に伴い、急遽、幹事長代理を引き受けることになり、今年度の総会で幹事長に任命されました海洋工学科 57 年（1982 年）卒の黒坂です。会社案内中の北極海での巨大な石油掘削リグ（TLP 方式：Tension Leg Platform）の建造風景を見て「これぞ、海洋工学科出身者のロマンだ」と思って三井造船に入社し、東京での生活も、はや 30 年目を迎えようとしています。

本部の会報にも記させて頂きましたが、土木海洋会・関東支部では、設立当初の諸先輩方から面々と引き継いで来ました“この会を皆で盛り上げて行く”と言う熱い気持ちと意欲的な取り組みをモットーとし、幅広い年齢層で活発に活動して行きたいと考えております。1 年間の主な活動内容は、7 月の総会、10 月の秋のレクリエーション、春と秋のゴルフ大会および 1 月の新年会を主な活動としておりますので、可能な限りご都合を調整の上ご参加頂きたいと考えております。

○ 会計監事 藤本 好由（海洋 56）



秋山真之海軍少将像：梅津寺



愛媛大学小松学長と共に

今回、薦田前幹事長の急遽異動等の事情により、異例の 2 回目会計監事をお引き受けいたしました。

元飯田支部長、萩原幹事長時代に幹事をお引き受けいたしてから 10 年間会計、会計監事を担当させて頂きました。

その経験を活かし、また今年の 3 月まで 2 年間の松山勤務の経験から、学生時代から就職で上京しました初心に戻り、「坂の上の雲」のごとく関東支部に協力させて頂きますので、宜しくご支援お願いいたします。

新年会のお知らせ

別途、ご案内を差し上げております通り、土木海洋会・関東支部の新年会を下記の予定で開催致します。ぜひ多くの方にご参加頂きたいと考えておりますので、ご出席方、宜しくお願い致します。

・日 時：平成 23 年 1 月 29 日（土）午後 3 時半～

・場 所：キャンパスイノベーションセンター東京（CIC）5 階

※特別ゲストとして、応用地質株式会社 工務本部 本部長の重信 純 様（海洋 56）にご講演をお願いしております。

編集後記



埼玉県川口市から見たスカイツリー

最近、仕事で良くベトナムを訪問しております。

ベトナムの平均年齢は 26 歳台であり（特に、人口構成で 15 歳から 24 歳の比率が一番高い！）、街中を歩いていると、高齢化が進む日本と比べるまでもなく、非常に活気に満ちた国であることが良く分かります。

私達の土木海洋会・関東支部も、ご多分に漏れず年々高齢化が進んでしまっております。

この広報誌は愛大・土木海洋会の HP にも掲載される予定ですので、ご覧になった関東地区の新入社員の皆さん、また来年 4 月から関東地区に勤務される予定の学生の皆さん、“関東支部の平均年齢を下げる為に” ぜひ、幹事まで、卒年・E メールアドレスと共に、ご一報をお願いします。

また、幹事になって頂ける方も“大”募集中です。

元々このような役割が嫌いでない方、なっても良いなと少しでも思われている方、是非幹事までご一報願います。

岩崎邸へようこそ

岩崎 公平 (海洋54)

と言っても我が家のことではありません。三菱グループを築いた岩崎弥太郎の息子久弥が建てた家の紹介です。場所は上野の不忍池の西、湯島天神の北にあります(右図)。

門を入り坂を登りきると正面にはクリーム色の洒落た洋館が見えてきます(写真1)。



写真1 洋館正面(北面)



明治29年に建てられ、当時のわが国、日本家屋ばかりだった中で、さぞかし目立ったことでしょう。一見、石造りかと思っしていますが、実は純木造建築です。設計者のイギリス人ジョサイア・コンドルが西洋建築様式の常套手段である石造り建築を提案したのですが、久弥は日本建築の木造にこだわりました。



写真2 洋館裏面(南面)



写真3 ベランダ1階床のミントン製モザイクタイル

洋館裏側はコロニアル様式で、円柱がアクセントとなって、1、2階ともベランダがあります(写真2)。ベランダは南側に面し、岩崎家の人々が日向ぼっこし、また、遠くの富士山を眺めたりしたことでしょう。

ベランダ床材は、1階がタイル貼りで(写真3)、2階は木貼りで。

タイルは陶磁器で有名なミントン製で、タイル目地がないためタイル模様を合わせるのにとても苦労し、何度も焼き直しました。なんでそれがわかったかと言うと、後に庭隅を掘り起こしたら、使われなかったタイルがごっそり出てきたそうです。

建築費用は、当時の東京市財政の1年分に相当するほど、莫大な費用をつぎ込みました。柱など建築に使用する木材が長大で、当時の道幅は狭く道角で引き回しができなかったのも、角数軒の民家を一旦潰し、木材を引き回した後、その家を新築してやったという逸話も残っています。



写真4 洋館内部



写真5 各部屋の暖炉



写真6 金唐革の壁紙

洋館内部は装飾を施された円柱が目につきます(写真4)。

各部屋に暖炉があり(写真5)、暖炉周囲の装飾模様は、一つ一つ異なるといったこだわりようです。

部屋の壁紙は金唐革紙(写真6)で、経年劣化のため現在も順次、張り替えており、製作工程が紹介されています(写真7)。一部屋張り替えるのに、数千万円かかるそうです。

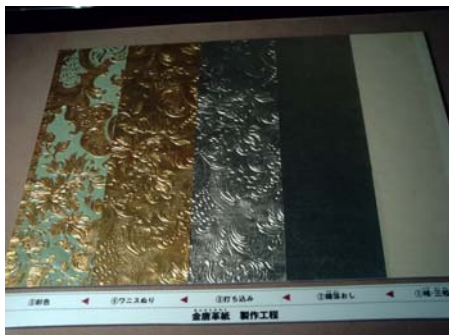


写真7 金唐革壁紙の製作工程



写真8 ビリヤードハウス



写真9 和風家屋

庭には山小屋風のビリヤードハウス(写真8)があり、洋館から地下通路で繋がっていますが、地下通路は見学できません。

洋館、ビリヤードハウスは息子の久弥が建築しましたが、弥太郎は明治18年に51歳で胃ガンのため既に他界していましたので、洋館家屋のことを弥太郎は全く知りません。では、弥太郎はどこに住んでいたかという、当時は敷地15000坪に20棟もの家屋があり、この一角に弥太郎は住んでいましたが、現存していません。現存する書院造りの和風家屋は久弥が洋館と同時に建てました(写真9)。洋館とは廊下で繋がっています。

襖の取っ手は、岩崎家家紋の菱形です(写真10)。

久弥は地域へも貢献し、湯島天神祭りには庭を開放し、関東大震災や第二次大戦の東京空襲の際には、被災者を受け入れ炊き出しもしました。敗戦後、岩崎邸はGHQに接收され久弥一家は成田の末広農場へ移り、その後は国有となり現在は東京都が管理しています。久弥は昭和30年、末広農場で90歳の生涯を終えました。



写真10 襖の取っ手(菱形)

2010年のNHK歴史大河ドラマは「龍馬伝」でした。現在、日本経済が停滞しているので、経済界がみんな疲弊している、よって日本に元気が出る人を取り上げよう、それには三菱グループの創始者「岩崎弥太郎」がいいと、当初、NHKは計画しました。が、いかんせん岩崎弥太郎ではドラマ1年も続ける題材がない、では、弥太郎と同じ土佐出身で親交のあった坂本龍馬を主人公にして、弥太郎から見た龍馬にしよう、ということになりました。

弥太郎と龍馬との親交は、実際には龍馬が運営していた「海援隊」の経理を弥太郎が土佐藩から任された長崎での6ヶ月間しかありませんでした。でもドラマでは、弥太郎から見た龍馬という切り口なので、最終回の近江屋事件も含め随所に親交場面が出てきます。ドラマですから面白くするため、事実とは異なる脚色をしてあるとのこと。

土木海洋会のみなさん、日本経済を築き上げた「岩崎弥太郎・久弥親子」の足跡を辿り、元気をもらいませんか。

上野の「岩崎邸」へどうぞお越しを。お待ち申し上げております。必ず元気になってみせます。

以上